

返済不要の奨学金制度の流れ



埼玉県は人口10万人あたりの医師数が全国で最低

1	京 都	307.9人
2	東 京	304.5
3	徳 島	303.3
4	高 知	293.0
5	福 岡	292.9
	全 国	233.6
43	福 島	188.8
44	新 潟	188.2
45	千 葉	182.9
46	茨 城	169.6
47	埼 玉	152.8

(注)厚生労働省の2014年医師・歯科医師・薬剤師調査

戸田中央医科グループ

首都圏を中心に28病院を運営する戸田中央医科グループ(TMG、埼玉県戸田市)は、医師の確保策を強化する。新人医師の確保策として、7月から同グループへの就職で返済不要とする、大学医学部の奨学金制度を高校などに直接PR。「医師の卵」を囲い込む。埼玉県は人口10万人あたりの医師数が全国最低で、人材確保とともに地域医療の維持にも寄与したい考えだ。

医師の卵確保へ 高校などで紹介

TMGでは今年20日までに、2018年4月の医学部入学をめざす高校生らを対象に必要な費用を貸す奨学金制度の奨学生を募集している。大学入学の支度金として100万円、授業料として毎月20万円(最大6年間・計1440万円)を貸与する制度で、「サラリーマン家庭でも私立医学部に入学できる奨学金」といった。医学部を卒業して初期臨床研修を受けた後、医師としてTMGの病院で9年以上勤務すれば返済を免除する。地域医療の担い手を確保する狙いで、奨学金を利用した初の卒業生2人が4月にTMGへの就職を果たしたことを機に、採用活動の見直しに着手した。今月からは採用担当者が高校を訪問し、奨学金や就職について直接説明する。訪問は通年行い、公立の進学校を中心に18年度以降卒業予定の学生にも利用を促す。



返済不要の奨学金PR

TMGは戸田中央総合病院をはじめ1都4県で28の病院を運営している

このほか、医学部への進学者の多い首都圏の高校や大手予備校を対象に、制度を周知するダイレクトメールを約300通送った。制度の利用希望者が多い場合には高校在学時の成績などを基準

に選考、毎年5人程度の奨学生確保を目指す。医学部の就職は大病院の多い都内に集中しがちで、地域医療の担い手が確保しにくい状況が続いている。TMGの担当者「先手を打たなければ採用環境はさらに厳しくなる」と語る。

現役医師の確保策では、16年4月にグループ全体の医師の採用を専門的に担う「医師招聘(しようへい)部」を設置。医師と病院をマッチングする紹介会社に同グループの病院を知ってもらう見学会を開くなど、優秀な人材確保に向けた売り込みも加速させている。埼玉県は人口10万人あたりの医師数が全国でも少なく、高齢化の進展に伴い医師不足が深刻化する懸念されている。地元就職を条件とした返済不要の奨学金制度は県も10年度に創設しており、危機感も共通している。TMGは「各地で地域密着型の医療を提供しているグループならではの強みを生かし、地元での医師の就職を後押ししたい」としている。